



# MONITOUCH

## テクニカルインフォメーション

2006年10月11日

テーマ	日立 EHV CPU との通信		
該当機種	モニタッチ : V7シリーズ、PLC : EHV	No. TI-M-0049-1	1/7

### 1. 目的

EHV CPU とシリアル通信、Ethernet 通信する場合の設定手順について説明します。

### 2. 接続環境

モニタッチ シリアル通信 : V7シリーズ、V706シリーズ+DU-01

Ethernet 通信 : V7iシリーズ、V7シリーズ+CU-03-2、V706シリーズ+DU-01

PLC : EHV-CPU128

PLC ツール : Control Editor

### 3. PLC の仕様

ポート	ポート種別	通信プロトコル	備考
SERIAL	RS-232C	伝送制御手順 1(1:1)	
		伝送制御手順 2(1:1)	
	RS-422	伝送制御手順 1(1:1)	
	RS-422/485	伝送制御手順 2(1:1)	
		伝送制御手順 1(1:N)	
		伝送制御手順 2(1:N)	
ETHERNET		UDP/IP	ポート 4 つ Vシリーズは各ポートと1:1通信のため最大 4 台接続

### 4. PLC の設定

SERIAL ポート

以下のパラメータで通信する場合

専用プロトコル

信号レベル : RS-232C

ボーレート : 57600bps

伝送形式 : 手順 1 (1:1)

1. パソコンと PLC を USB ケーブルで接続します。
2. 「Control Editor」を起動します。

3. [ ツール ] [ CPU 設定 ] [ シリアル通信設定 ] を選択し、[ CPU 通信設定 ] ダイアログを設定します。



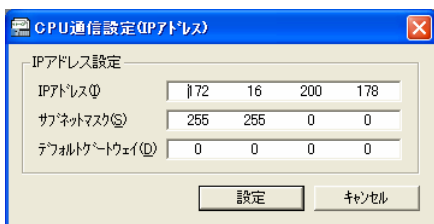
4. PLC の電源を入れ直します。

ETHERNET ポート

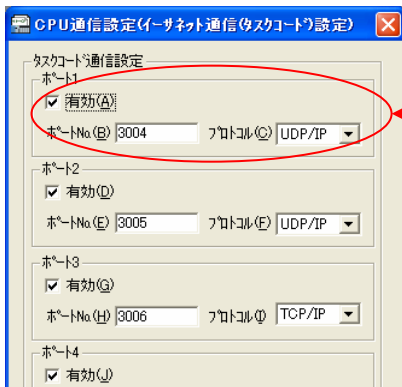
以下の設定で接続する場合

IP アドレス : 172.16.200.178  
 サブネットマスク : 255.255.0.0  
 ポート No. : 3004  
 プロトコル : UDP/IP

1. パソコンと PLC を USB ケーブルで接続します。
2. 「Contorl Editor」を起動します。
3. [ ツール ] [ CPU 設定 ] [ IP アドレス設定 ] を選択し、IP アドレスを設定します。



4. [ ツール ] [ CPU 設定 ] [ イーサネット通信(タスクコード)設定 ] を選択し、ポート No.とプロトコルを設定します。



V7 と通信するポートのプロトコルは必ず UDP/IP に設定します。

5. PLC の電源を入れ直します。

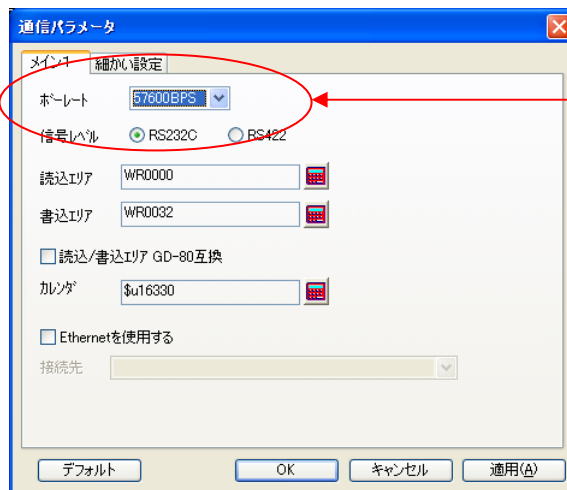
5. V-SFT、V7 設定

シリアル通信の場合

1. [システム設定] [PLC タイプ選択] で、「HIDIC-EHV」を選択します。



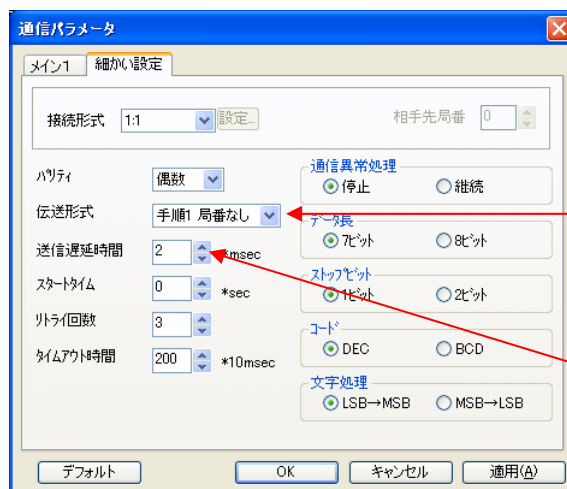
2. [システム設定] [通信パラメータ] で、ボーレートと信号レベルを選択します。



必ず PLC 側の設定と合わせます。

ボーレート : 57600BPS  
信号レベル : RS232C

3. [細かい設定] タブを選択し、伝送形式を選択します。



必ず PLC 側の設定と合わせます。

伝送形式 : 手順 1 局番なし

その他のパラメータ  
データ長 : 7ビット  
ストップビット : 1  
パリティ : 偶数  
は PLC の仕様が固定です。  
変更しないでください。

送信遅延時間は 2ms 以上の設定  
をお奨めします。

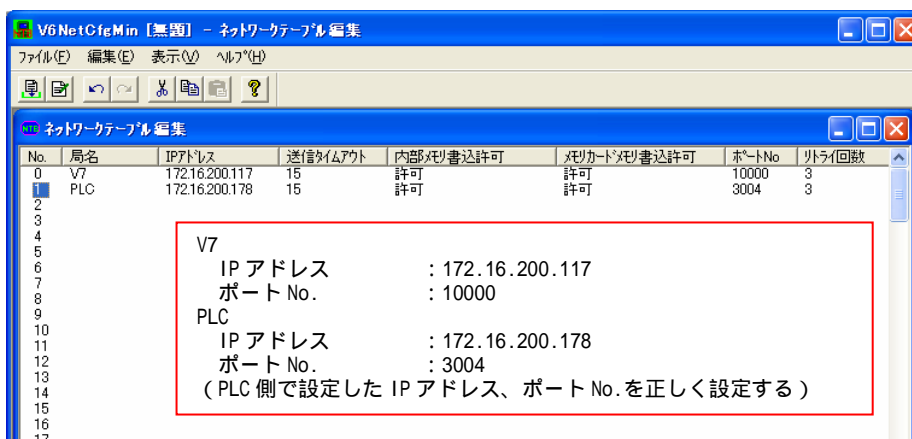
4. 画面データを転送します。

Ethernet 通信の場合

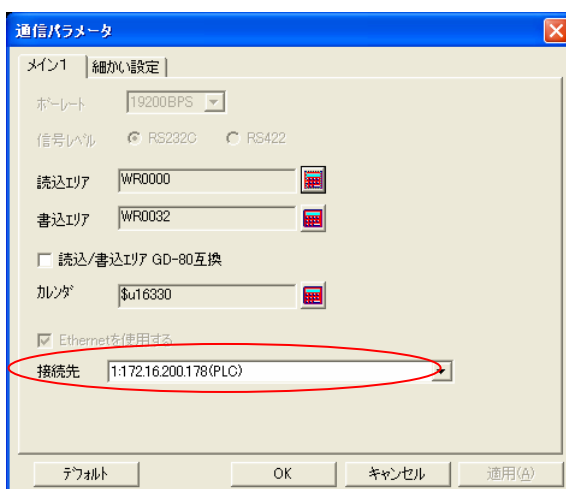
1. [システム設定] [PLC タイプ選択] で、「HIDIC-EHV(Ethernet)」を選択します。



2. [システム設定] [ネットワークテーブル設定] でネットワークテーブル編集を開き、PLC と V7 を登録します。



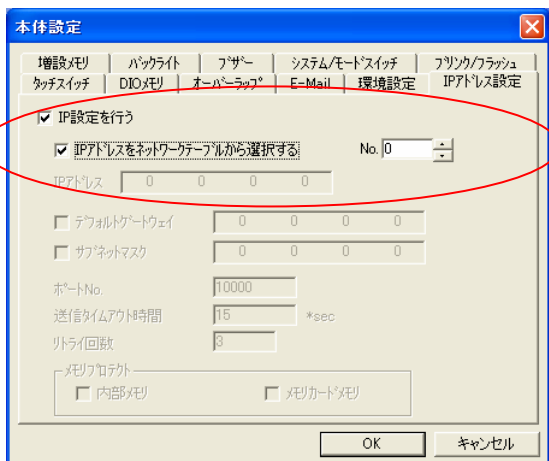
3. [システム設定] [通信パラメータ] で、接続先の PLC を選択します。



4. V7 本体のネットワーク No.設定を行います。本体の操作でネットワーク No.設定をする場合はここで設定せず、「手順 5」へ進みます。

[システム設定] [本体設定] で [本体設定] ダイアログが表示されます。

[IPアドレス設定] タブで V7 が登録されているネットワークテーブル No.を設定します。



5. 画面データを転送します。

V7 本体のネットワーク No.設定を本体で行います。「手順 4」の「IP アドレス設定」でネットワークテーブル No.を設定した場合は必要ありません。

「ローカルメイン」画面から [Ethernet] スイッチで、「Ethernet」画面に入ります。[IP アドレス設定] スイッチを押します。スイッチ上の文字が [IP アドレスをネットワークテーブルから選択する] に変わり、ネットワークテーブル No.を選択できる状態になります。



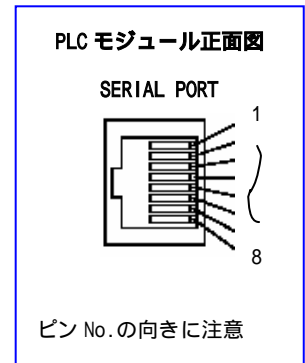
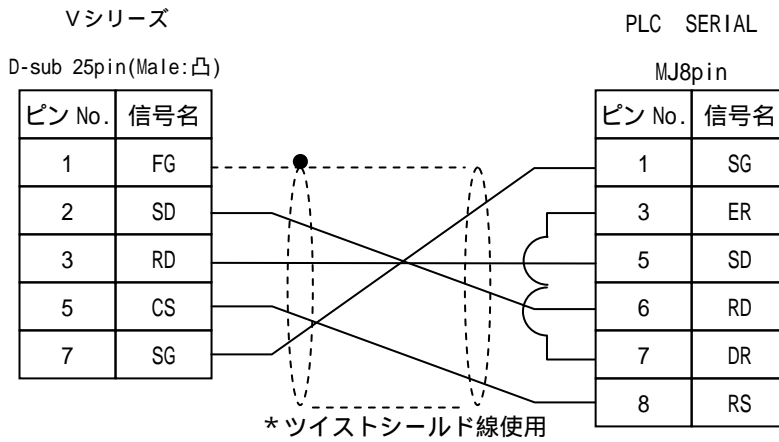
[ +/- ] スイッチで V7 に割り当てたネットワークテーブル No.を設定し、[ 設定完了 ] スイッチを押します。

[ 戻る ] スイッチで「ローカルメイン」画面に戻ります。

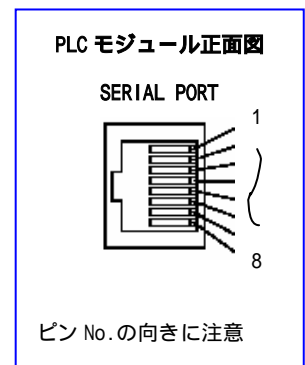
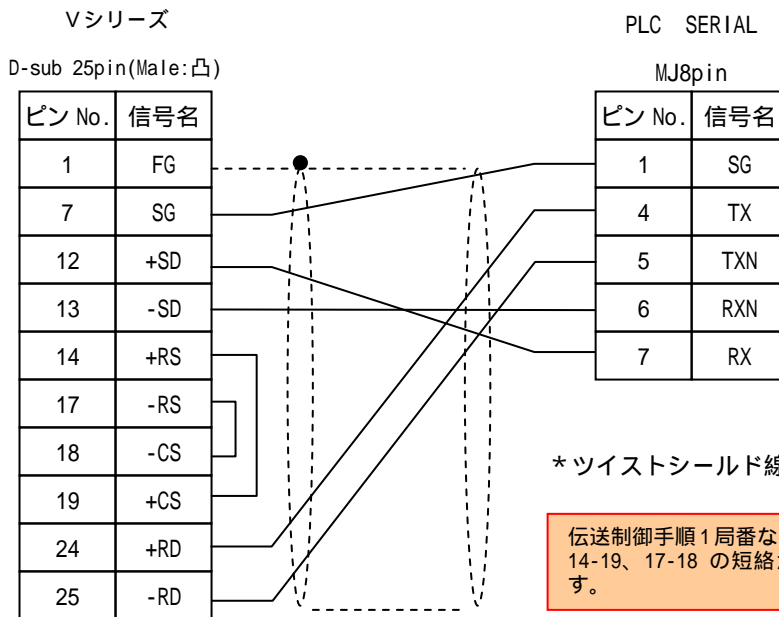
以上で V7 の設定は終了です。

6. 接続

RS-232C



RS-422



伝送制御手順1局番なしの場合  
14-19、17-18 の短絡が必要です。

RS-485

Vシリーズ

PLC SERIAL

D-sub 25pin(Male:凸)

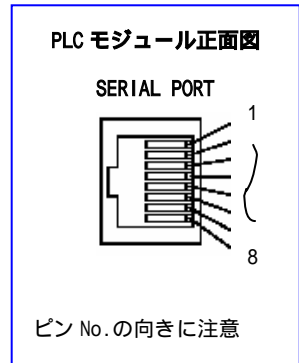
MJ8pin

ピン No.	信号名
1	FG
7	SG
12	+SD
13	-SD
14	+RS
17	-RS
18	-CS
19	+CS
24	+RD
25	-RD

ピン No.	信号名
1	SG
4	TX
5	TXN
6	RXN
7	RX

\*ツイストシールド線使用

伝送制御手順1局番なしの場合  
14-19、17-18 の短絡が必要です。



Ethernet

市販のLANケーブルをご使用下さい。

モニタッチとPLCを1:1で接続する場合はクロスタイプのLANケーブル、HUBを介して接続する場合はストレートタイプのLANケーブルをご使用下さい。

お問い合わせは...

 発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208